



緊急コールハンドラ

- [緊急コールハンドラの概要（1 ページ）](#)
- [緊急コールハンドラ的前提条件（2 ページ）](#)
- [緊急コールハンドラ タスク フロー（2 ページ）](#)
- [連携動作（10 ページ）](#)
- [緊急コールハンドラのトラブルシューティング（13 ページ）](#)

緊急コールハンドラの概要

緊急コールハンドラは、条例および規制への準拠を維持しながらテレフォニーネットワーク内での緊急コールを管理できるようサポートします。

緊急コールには、次の要件が適用されます。

- 発信者のロケーションに基づいて緊急コールをローカル公安応答局（PSAP）にルーティングする必要がある。
- 発信者のロケーション情報を緊急オペレータの端末に表示する必要がある。このロケーション情報は、自動ロケーション情報（ALI）データベースを照会することによって取得できます。

発信者のロケーション情報は、緊急ロケーション識別番号（ELIN）によって特定されます。ELINとは、緊急コールが切断された場合、またはPSAPが発信者と再度話す必要がある場合に、PSAPが緊急コールの発信者に再度連絡を取るためにダイヤルできる、ダイヤルイン方式（DID）の番号です。緊急コールは、その番号に関連付けられたロケーション情報に基づいてPSAPにルーティングされます。

オフィス システムなどのマルチラインの電話システムの場合、複数の電話機をELINと関連付けるには、それらの電話機をELINグループに分類します。緊急コールハンドラのELINグループによりロケーションが特定されます。このELINグループのELINを、ALIデータベース内のロケーションにマップする必要があります。

各位置には、同時緊急コールに対応するために必要な数のELINが作成されている必要があります。たとえば、5つの同時コールをサポートするには、ELINグループ内に5つのELINが必要です。



- (注) 緊急コールハンドラでは、クラスタあたり最大100個のELINグループがサポートされています。ELINが同じロケーションからの次の緊急コールに使用されるまで、ELINの元の着信側へのマッピングがアクティブであることを確認します。ELINマッピングを使用しない場合、DNは最大3時間だけアクティブになります。

ELINグループを使用できる電話のタイプは次のとおりです。

- SIP および SCCP IP フォン
- CTI ポート
- MGCP および SCCP アナログ電話
- H.323 電話

緊急コールハンドラ的前提条件

例

緊急コールハンドラをネットワークに導入する前に、ALI送信プロセスをテストすることを推奨します。サービスプロバイダーと協力して、PSAPでALIデータを使用してご使用のネットワークに正常にコールバックできることをテストします。

ローカルPSAPからのELIN番号を予約します。法令や規則は場所や企業によって異なるため、この機能を導入する前に、セキュリティに関するニーズと法的なニーズを調査します。

緊急コールハンドラ タスク フロー

始める前に

- [緊急コールハンドラ的前提条件 \(2 ページ\)](#) を確認してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	緊急コールハンドラの有効化 (4 ページ)	Cisco Unified Communications Manager の緊急コールハンドラ機能を有効にします。緊急コールハンドラは、基本的な緊急コール機能を提供し、スタティック設定による電話場所割り当てを使用して、限られた場

	コマンドまたはアクション	目的
		所をサポートします。指定場所の数を増やしたり、ダイナミックに場所割り当てをしたりといった高度な緊急コール機能が必要な場合は、Cisco Emergency Responder をご検討ください。
Step 2	緊急ロケーショングループの設定 (5 ページ)	特定のサイトまたは場所に対し、緊急場所 (ELIN) グループを設定します。
Step 3	緊急ロケーショングループへのデバイスプールの追加 (5 ページ)	緊急ロケーション (ELIN) グループを使用するようにデバイスプールを設定します。
Step 4	(任意) 緊急ロケーショングループへのデバイスの追加 (6 ページ)	特定の緊急ロケーション (ELIN) グループを使用するように、特定のデバイスを設定します。このデバイスに関連付けられたデバイスプール (ELIN) グループを使用する場合には、このセクションを無視できます。 (注) デバイスレベルで作成された設定は、デバイスプールレベルで作成されたいかなる設定も上書きします。
Step 5	ルートパターンとトランスレーションパターンの有効化 (7 ページ)	ルートパターンまたはトランスレーションパターンの緊急ロケーション (ELIN) サービスを有効にします。 注意 緊急コールハンドラの設定により ELIN を変換する可能性があるため、発信元変換マスクはゲートウェイまたはリンクに設定されません。 (注) ルートパターンまたはトランスレーションパターンいずれかの有効化が必須ですが、両方の有効化も可能です。
Step 6	(オプション) ELIN グループの情報と電話の一括管理タスクを実行するには、次の手順を使用します。 • 緊急ロケーショングループ情報のインポート (8 ページ)	このセクションでは、ELIN グループの情報を更新し、新しい ELIN グループに電話を追加する際に使用できる一括管理タスクについて説明します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager

	コマンドまたはアクション	目的
	<ul style="list-style-type: none"> • 緊急ロケーショングループ情報のエクスポート (9 ページ) • 新しい緊急ロケーショングループによる電話の更新 (10 ページ) 	<i>Administration Guide, Release 11.0(1)</i> 』を参照してください。

緊急コールハンドラの有効化

Cisco Unified Communications Manager の緊急コールハンドラ機能を有効にします。緊急コールハンドラは、基本的な緊急コール機能を提供し、スタティック設定による電話場所割り当てを使用して、限られた場所をサポートします。指定場所の数を増やしたり、ダイナミックに場所割り当てをしたりといった高度な緊急コール機能が必要な場合は、Cisco Emergency Responder をご検討ください。



(注) Cisco Emergency Responder などの外部の緊急コールソリューションを既に使用している場合は、この機能を有効にしないでください。

この機能を有効にする場合は、必ず外部のこの機能を無効にしてください。

手順

Step 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[コールルーティング (Call Routing)] > [緊急コールハンドラ (Emergency Call Handler)] > [緊急ロケーション (ELIN) グループ (Emergency Location (ELIN) Group)]。

Step 2 [緊急ロケーション設定 (Emergency Location Configuration)] ウィンドウから、以下のことを行います。

- 緊急コールハンドラ機能を有効にするには、[緊急ロケーション (ELIN) サポートの有効化 (Enable Emergency Location (ELIN) Support)] チェックボックスをオンにします。デフォルト設定は「無効」です。これを有効にすると、この機能に関連する設定が[関連設定 (Related Settings)] ペインに表示されます。この機能を動作させるには、これらの設定を行う必要があります。これらの関連設定を行う方法の詳細については、次のタスクを参照してください。
- 緊急コールハンドラ機能を無効にするには、[緊急ロケーション (ELIN) サポートの有効化 (Enable Emergency Location (ELIN) Support)] チェックボックスをオフにします。

(注) この機能を無効にすると、設定されているすべての関連する設定が削除されます。設定されているすべての設定については、[関連設定 (Related Settings)] ペインを参照してください。

(注) この機能を無効にすることを希望し、ELIN グループに関連付けられているデバイスが 500 を超える場合、機能を無効にする前に、関連付けを 500 未満になるまで手動で削除する必要があります。

Step 3 [保存 (Save)] をクリックします。

緊急ロケーショングループの設定

特定のサイトまたは場所に対し、緊急場所 (ELIN) グループを設定します。

始める前に

[緊急コールハンドラの有効化 \(4 ページ\)](#)

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。 **Call Routing > Emergency Call Handler > Emergency Location (ELIN) Group**.
- Step 2** [緊急ロケーション (ELIN) グループの設定 (Emergency Location (ELIN) Group Configuration)] ウィンドウで、[名前 (Name)] フィールドにグループの名前を入力します。
- Step 3** [番号 (Number)] フィールドに、公安応答局 (PSAP) に登録された DID 番号のプールを入力します。
- Step 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-

緊急ロケーショングループへのデバイスプールの追加

緊急ロケーション (ELIN) グループを使用するようにデバイスプールを設定します。

始める前に

[緊急ロケーショングループの設定 \(5 ページ\)](#)

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。 [システム (System)] > [デバイスプール (Device Pool)]。
- Step 2** [デバイスプールの検索と表示 (Find and List Device Pools)] ウィンドウで、既存のデバイスプールを追加する場合、[検索 (Find)] をクリックし、リストからデバイスプールを選択します。新しいデバイスプールを追加するには、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- Step 3** [デバイスプールの設定 (Device Pool Configuration)] ウィンドウで、[緊急ロケーション (ELIN) グループ (Emergency Location (ELIN) Group)] ドロップダウンリストから、デバイスプールを追加する ELIN グループを選択します。新しいデバイスプールを追加する場合、そのほかの必須フィールドを入力します。

Step 4 [保存 (Save)] をクリックします。

緊急ロケーショングループへのデバイスの追加

特定の緊急ロケーション (ELIN) グループを使用するように、特定のデバイスを設定します。このデバイスに関連付けられたデバイスプール (ELIN) グループを使用する場合には、このセクションを無視できます。



(注) デバイス レベルで作成された設定は、デバイス プール レベルで作成されたいかなる設定も上書きします。



(注) ELIN グループに追加するデバイスは、そのデバイスが配置されている特定の場所を表す ELIN グループに追加する必要があります。

始める前に

[緊急ロケーショングループへのデバイスプールの追加 \(5 ページ\)](#)

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]。
- (注) IP フォン以外のタイプの電話機を使用している場合は、そのタイプの電話機の関連設定ページに移動します。
- Step 2** [電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウで、既存のデバイスを追加する場合は、[検索 (Find)] をクリックし、設定するデバイスをリストから選択します。新しいデバイスを追加する場合は、[新規追加 (Add New)] をクリックします。
- Step 3** 新しい電話機を追加する場合は、[電話機のタイプ (Phone Type)] ドロップダウン リストから追加する電話機のタイプを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- Step 4** [電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、デバイスを追加する ELIN グループを [緊急ロケーション (ELIN) グループ (Emergency Location (ELIN) Group)] ドロップダウン リストから選択します。新しいデバイスを追加する場合は、その他の必要なフィールドにも入力します。
- Step 5** [保存 (Save)] をクリックします。

ルートパターンとトランスレーションパターンの有効化

ルートパターンまたはトランスレーションパターンの緊急ロケーション（ELIN）サービスを有効にします。



(注) ルートパターンまたはトランスレーションパターンいずれかの有効化が必須ですが、両方の有効化も可能です。

始める前に

[緊急ロケーショングループへのデバイスの追加（6ページ）](#)

手順

Step 1 [Cisco Unified CM の管理（Cisco Unified CM Administration）] から、次のいずれかのウィンドウを選択してください。

- ルートパターンを有効にするには、[コールルーティング（Call Routing）]>[ルート/ハント（Route/Hunt）]>[ルートパターン（Route Pattern）]を選択します。
- トランスレーションパターンを有効にするには、[コールルーティング（Call Routing）]>[トランスレーションパターン（Translation Pattern）]を選択します。

Step 2 [ルートパターンの検索と一覧（Find and List Route Patterns）]または[トランスレーションパターンの検索と一覧（Find and List Translation Patterns）]のウィンドウで、[検索（Find）]をクリックし、リストからルートパターンまたはトランスレーションパターンを選択します。

Step 3 [ルートパターン設定（Route Pattern Configuration）]または[トランスレーションパターン設定（Translation Pattern）]ウィンドウで、[緊急サービス番号（Is an Emergency Services Number）]のチェックボックスをオンにします。

(注) 緊急コールハンドラを使用し、Cisco Emergency Responder などその他外部の緊急コールのソリューションを使用しない場合のみ、このチェックボックスをチェックします。

Step 4 [保存（Save）]をクリックします。

緊急ロケーショングループと電話の一括管理

- [緊急ロケーショングループと電話の一括管理のタスクフロー（8ページ）](#)

緊急ロケーショングループと電話の一括管理のタスクフロー

このセクションでは、ELIN グループ情報を更新、または新しい ELIN グループを追加するのに使用できる一括管理タスクについて説明します。一括管理の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide, Release 11.0(1)*』を参照してください。



(注) 次の手順を実行する前に、緊急コールハンドラ機能が有効であることを確認します。[緊急コールハンドラの有効化 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
Step 1	緊急ロケーショングループ情報のインポート (8 ページ)	一括管理ツールを使用して緊急ロケーション (ELIN) グループ情報をインポートします。
Step 2	緊急ロケーショングループ情報のエクスポート (9 ページ)	一括管理ツールを使用して緊急ロケーション (ELIN) グループ情報をエクスポートします。
Step 3	新しい緊急ロケーショングループによる電話の更新 (10 ページ)	複数の電話を検索して、一覧表示し、新しい緊急ロケーション (ELIN) グループを設定します。

緊急ロケーショングループ情報のインポート

一括管理ツールを使用して緊急ロケーション (ELIN) グループ情報をインポートします。

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[一括管理 (Bulk Administration)] > [インポート/エクスポート (Import/Export)] > [インポート (Import)]。
- Step 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウンリストから、インポートする .tar ファイルの名前を選択して、[次へ (Next)] をクリックします。
- Step 3** [インポートの設定 (Import Configuration)] セクションに、.tar ファイルのすべてのコンポーネントが一覧表示されます。ユーザがインポートするオプションの ELIN グループ関連のチェックボックスをオンにします。
- Step 4** ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを、対応するラジオボタンをクリックして選択します。
- Step 5** 選択したデータをインポートするためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。[ステータス (Status)] セクションのメッセージは、ジョブが正常に送信されたことを通知します。

- Step 6** このジョブをスケジュール設定したり、アクティブにしたりするには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

緊急ロケーション グループ情報のエクスポート

一括管理ツールを使用して緊急ロケーション (ELIN) グループ情報をエクスポートします。

始める前に

[緊急ロケーション グループ情報のインポート \(8 ページ\)](#)

手順

- Step 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[一括管理 (Bulk Administration)] > [インポート/エクスポート (Import/Export)] > [エクスポート (Export)]。
- Step 2** [データのエクスポート (Export Data)] ウィンドウの [ジョブ情報 (Job Information)] ペインで、[Tar ファイル名 (Tar File Name)] フィールドに拡張子を除いた .tar ファイル名を入力します。BPS は、このファイル名を使用して設定の詳細情報をエクスポートします。
- (注) 同時にエクスポートされるすべてのファイルは、まとめてバンドルされ (.tar)、サーバからダウンロードできます。
- Step 3** ELIN グループ情報をエクスポートするには、[エクスポートするアイテムの選択 (Select Items to Export)] ペインで [ELIN グループ (Elin Group)] チェック ボックスをオンにします。
- Step 4** (任意) 次の手順を実行します。
- ELIN グループが設定されたデバイス プールをエクスポートするには、[デバイス プール (Device Pools)] チェックボックスをオンにします。
 - ELIN グループが設定された電話機をエクスポートするには、[電話機 (Phone)] チェックボックスをオンにします。
- Step 5** [ジョブの説明 (Job Description)] フィールドに、そのジョブに関して優先する説明を入力します。「Export Configuration」がデフォルトの説明です。
- Step 6** 対応するラジオ ボタンをクリックすることにより、ジョブを今すぐ実行するか後で実行するかを選択できます。
- Step 7** 選択したデータをエクスポートするジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。[ステータス (Status)] ペインのメッセージにより、ジョブが正常に送信されたことが通知されます。
- Step 8** このジョブをスケジュール設定したり、アクティブにしたりするには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

新しい緊急ロケーショングループによる電話の更新

複数の電話を検索して、一覧表示し、新しい緊急ロケーション（ELIN）グループを設定します。

始める前に

[緊急ロケーショングループ情報のエクスポート（9 ページ）](#)

手順

-
- Step 1** Cisco Unified CM の管理で、[一括管理（**Bulk Administration**）]>[電話（**Phones**）]>[電話の更新（**Update Phone**）]>[クエリ（**Query**）]の順に選択します。
- Step 2** [更新する電話の検索および一覧表示（**Find and List Phones To Update**）] ウィンドウで、検索のパラメータを設定し、[検索（**Find**）]をクリックします。
- （注） すべての電話を更新するには、クエリを指定せずに、[検索（**Find**）]をクリックします。
- Step 3** [更新する電話の検索および一覧表示（**Find and List Phones To Update**）] ウィンドウに選択した電話の詳細が表示されます。[次へ（**Next**）]をクリックします。
- Step 4** [電話の更新（**Update Phones**）] ウィンドウで、[緊急ロケーション（**ELIN**）グループ（**Emergency Location (ELIN) Group**）]のチェックボックスをオンにして、ドロップダウンリストから新規ELINグループを選択します。
- Step 5** [Submit] をクリックします。
-

連携動作

機能	連携動作
サイレント コール拒否 （Do Not Disturb Call Reject）	PSAP コールバックからのコールにより、接続先デバイスのサイレント（DND）設定が上書きされます。 DND 通話拒否が有効になっている場合、トランスレーションパターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出された場合は、その電話機の DND 設定に関係なく、コールが電話機にルーティングされます。

機能	連携動作
すべてのコールの転送	<p>PSAP コールバックからのコールにより、接続先デバイスの不在転送（CFA）設定が上書きされます。</p> <p>電話機で CFA が有効になっており、トランスフォーメーションパターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出された場合は、その電話機の CFA 設定に関係なく、コールが電話機にルーティングされます。</p>
シングルナンバーリーチ（Single Number Reach）	<p>PSAP コールバックは、シングルナンバーリーチ（SNR）設定を無視します。</p> <p>電話機で SNR が有効になっており、リモート接続先が携帯電話の番号を指している場合。トランスレーションパターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ELIN 番号が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールはリモート接続先ではなく電話機にルーティングされます。</p>

機能	連携動作
Extension Mobility (Extension Mobility)	<p>PSAP コールバック コールで Extension Mobility (EM) ステータスが考慮されます。</p> <p>EMプロファイルクレデンシアルを使用してログインし、トランスフォーマーションパターンを使用して緊急番号をダイヤルすると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ユーザがログインしている ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールはコールを開始したデバイスにルーティングされます。</p> <p>(注) これは、ユーザがまだログインしているデバイスです。</p>
	<p>PSAP コールバックの実行前にユーザが EM からログアウトすると、PSAP コールバックが失敗します。</p> <p>EMプロファイルクレデンシアルを使用してログインし、トランスフォーマーションパターンを使用して緊急番号をダイヤルすると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され PSAP コールバックを使用して呼び出された場合、ユーザがそれ以降にログアウトしていると、コールは開始されたデバイスにルーティングされず失敗します。</p>
	<p>ユーザが別のデバイスでログインした PSAP コールバック。</p> <p>ユーザが電話機 A で EM プロファイルクレデンシアルを使用してログインし、トランスフォーマーションパターンを使用して緊急番号をダイヤルすると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断された場合は、ユーザが電話機 A からログアウトする必要があります。その後で、ユーザが同じプロファイルを使用して別の電話機 (電話機 B) にログインし、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールは通常の優先順位の電話機 B にルーティングされます。これは、CFA 設定が無視され、DND 設定が無視されないことを意味します。</p>
	<p>複数のログインを使用した PSAP コールバック コール。</p> <p>ユーザが電話機 A で EM プロファイルクレデンシアルを使用してログインし、トランスフォーマーションパターンを使用して緊急番号をダイヤルすると、ELIN 番号がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ユーザが電話機 A にログインしたまま同じプロファイルを使用して別の電話機 (電話機 B) にログインし、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールはコールを開始したデバイスである電話機 A にのみルーティングされます。</p>

機能	連携動作
デバイス モビリティ	<p>ローミング デバイスは、アウトバウンド緊急コールにローミング デバイス プールの ELIN グループを使用します。</p> <p>デバイス モビリティが有効になっているデバイスをそのホームの場所からローミングの場所に移動し、ローミング デバイス プールに関連付けられるように IP サブネットを変更します。トランスレーション パターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。ELIN は、ローミング デバイス プールに関連付けられた ELIN グループに属しています。</p>
共用回線	<p>PSAP コールバックは、回線が複数のデバイスで共有されている場合でも、緊急コールを発信したデバイスでのみ鳴動します。</p> <p>電話機 A と電話機 B が電話番号 (DN) を共有します。トランスレーション パターンを使用して緊急番号がダイヤルされると、ELIN がそのアウトバウンド緊急コールに関連付けられます。コールが切断され、ELIN が PSAP コールバックを使用して呼び出されると、コールはコールを開始したデバイスである電話機 A にのみルーティングされます。</p>

緊急コールハンドラのトラブルシューティング

緊急コールハンドラのトラブルシューティング シナリオ

このセクションでは、次の分野にある緊急コールハンドラのトラブルシューティングシナリオについて説明します。

- 設定シナリオ
- 発信コールのシナリオ
- 着信コールのシナリオ

設定シナリオ

緊急コールがビジー信号を受信し、ルーティングされない

問題:

緊急コールがビジー信号を受信し、ルーティングされません。

解決方法:

緊急コールをダイヤルしているユーザにリオーダー音が流れている場合は、以下のチェックを実行してください。

リオーダー音が流れている最中に緊急場所の番号が外部からダイヤルされる

- 緊急コールのトランスレーションまたはルートパターンが使用されているかどうかを確認します。これには、CSS 上のデバイスまたは電話のチェックが必要な場合があります。
- 緊急コールのトランスレーションまたはルートパターンの [緊急サービス番号です (Is an Emergency Services Number)] チェックボックスがオンになっており、それがゲートウェイに正しくルーティングされていることを確認します。

緊急コールをダイヤルしているユーザが正しいゲートウェイまたは Public Service Answering Point (PSAP) に到達していない場合は、電話またはデバイスの設定またはデバイスプール設定が正しい Emergency Location (ELIN) グループを使用して設定されていることを確認します。

リオーダー音が流れている最中に緊急場所の番号が外部からダイヤルされる

問題:

リオーダー音が流れている最中に緊急場所 (ELIN) の番号が外部からダイヤルされます。

原因:

このケースでは、ELIN が発信者の場所を特定するために使用される DID として設定されています。これは、どの電話機でも、他のどの目的にも使用すべきではありません。

解決方法:

ELIN の設定情報を確認し、DID として設定されている ELIN を設定解除してください。

発信コールのシナリオ

発信緊急コールに発信者番号が緊急ロケーション番号として含まれていない

問題:

発信緊急コールに、発信者番号が緊急ロケーション (ELIN) 番号として含まれていません。

原因:

この ELIN のトランスレーションパターンまたはルートパターンが正しく設定されていませんでした。

解決方法:

この ELIN のトランスレーションパターンまたはルートパターンが正しく設定されているかどうかを確認し、該当するトランスレーションパターンまたはルートパターンの設定ページで、[緊急サービス番号である (Is an Emergency Services number)] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

発信緊急コールに変更された緊急場所の番号が含まれる

問題:

発信緊急コールに変更された緊急場所の番号 (ELIN) が含まれています。

原因:

発信トランクまたはルートリストに ELIN では必要のない余分な変換が含まれています。

解決方法:

コールに適用された変換を確認し、発信トランクまたはルートリストに ELIN に必要な変換のみが存在していることを確認します。

着信コールのシナリオ

着信 PSAP コールバック コールが失敗する

問題:

着信 PSAP コールバック コールが失敗します。

原因:

元の緊急コールを発信したデバイスが正しく登録されていません。

解決方法:

元の緊急コールを発信したデバイスがまだ登録されているかどうか、すべての Extension Mobility が機能しているかどうかを確認してください。

着信 PSAP 折り返しコールが予測どおりにルーティングされない

問題:

着信 PSAP 折り返しコールが予測どおりにルーティングされません。

原因:

緊急ロケーション (ELIN) 番号が元の発信者番号と一致しません。

解決方法:

ELIN に対応する元の発信者を正常に逆マッピングするには、これら2つの番号が一致する必要があります。すでに着信ゲートウェイまたはトランクで変換があり、有意な数字が設定されている場合、最終的に変換された着信側が ELIN 番号に一致することを確認します。

■ 着信 PSAP 折り返しコールが予測どおりにルーティングされない

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。